

中学・高校等のキャリア教育等支援事業

若者の現状

- 180万人を超えるフリーター、60万人を超える若年無業者
- 中卒で約7割、高卒で約5割、大学等卒で約4割が就職後3年以内に離職

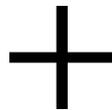
経済・社会の現状

- 終身雇用・年功型賃金・新卒一括採用の変化、非正規雇用の増加など就業構造が変化
- 企業内訓練が縮小

学校教育段階から、自らのキャリア形成を意識する必要性

改正教育基本法、教育振興基本計画等により、各学校教育段階でも

- ・ インターンシップ
- ・ 教科レベルでのキャリア教育等の取組が順次行われているところ



◎多様な経歴を持つ社会人、キャリア・コンサルタント有資格者等を短期雇用、教育委員会等に配置して、各学校を巡回

《具体の役割》

- 一般的な職業講話だけでなく、
- 児童・生徒のインターンシップ経験を「単なる感想」で終わらせずに、仕事という観点から問いかけ・アドバイスする（例:「物を売るのが面白かった」「人の笑顔を見るのが楽しい」「手先が器用と褒められた」など、仕事・社会に関する本人の興味・適性を引き出す相談）
 - インターンシップ先の開拓、職業講話をしてくれる企業人の開拓など、協力者・企業の開拓を行う
 - 進路(自立)の見通しを持ってない児童・生徒・学生へのアドバイス等の支援を行う。